

福井から「原発ゼロ」必ず



訴える西村さん(手前) 19日、福井市

再稼働抗議行動 1000回

福井市の関西電力地域共生本部前で続ける原発再稼働への抗議行動「命のレスキュー・ランチタイムアピール」が19日、開始から1000回目を迎えました。

石森修一郎さん(70) 坂井市と西村明宏さん(73) 福井市が、2013年8月15日以来、欠かさず平日昼時に取り組んでいます。県内では、関電の高浜原発3・4号機(高浜町)に続き、大飯原発3・4号機(おおい町)が再稼働に向けて地元同意

手続きに入っています。

石森さんは、大飯3・4号機の運転差し止めを

命じた福井地裁判決の意義を強調。「判決を大事にして、最後の最後まで原発を止めるため力いっぱい頑張る。原発ゼロになったとき、この活動は終わる」と表明しました。

西村さんは「福井の原発をなんとしても再稼働させない思いでやってきた。再稼働はどの角度から考えても道理がない。安倍政治を早く終わらせたい」と訴えました。

日本共産党から、かねもと幸枝衆院1区候補、佐藤正雄県議、西村公子市議が参加しました。